

兵庫県のみ漁場環境情報 (西播海域 5号)

2024年11月22日発行
 兵庫県のみ研究所

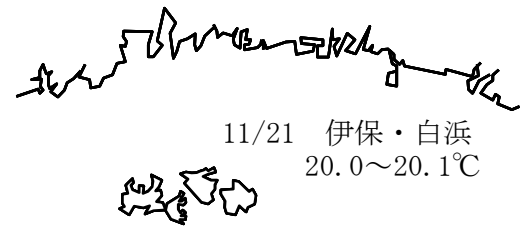
海域全般に、大型珪藻コシノディスカスは確認されますが、発生量は少ない状況です。西播地先では、小型珪藻キートセロスは多く確認されていますが、前回調査より発生量は大きく減少しています。窒素は、陸水等の影響が見られる地点を除き、地先漁場で1 μg at/L以下、沖合漁場東部で概ね3 μg at/L台、西部で1 μg at/L台の値となっています。

(珪藻ほか)

沖合漁場では、大型珪藻コシノディスカスの発生量は減少していた。各海域のコシノディスカス発生量は海水1Lあたり、西播地先で30~160細胞(前回値:50~100細胞)、沖合漁場で20~120細胞(前回値:300~400細胞)であった。小型珪藻キートセロスの発生量は、前回(11/11)調査より大きく減少しており、沖合漁場ではわずかに確認される程度であった。

沖合漁場東部では、夜光虫がやや多く確認された。

水温図



		前回値	今回値	平年値	昨年値
西播地先	窒素	9.1	0.7	4.7	1.0
	リン	0.51	0.35	0.59	0.60
家島・坊勢	窒素	2.7	3.0	4.7	2.0
	リン	0.57	0.60	0.65	0.65

(11/11) (11/27)

栄養塩 (窒素) 図

2024年11月22日調査

